

1) システムの名称 :

新版 e-カルテ (シンバンイーカルテ)

2) 対象業務、電子カルテシステム内での位置付け :

1. 電子カルテ・所見記述系、1 2. 診療録など管理系

3) 特色 :

◆診療記録の3原則に対応

(真正性) 情報の追加・修正・削除の全ての履歴を管理/データの半永久保存

(見読性) 各種情報を即時に、かつ複数ユーザが画面に表示が可能/XML (HL7) 出力に対応

(保存性) サーバの完全二重化、リアルタイムデータレプリケーションによる高速バックアップ、無期保管に対応

◆総合診療録

医師診察診療録のみでなく、看護記録、リハビリ、栄養指導など病院総合カルテによる、院内情報の共有化 (共通インターフェイスによる入力/参照) を実現します。

◆入力サポート

医療用漢字辞書と標準連携しています。さまざまな入力サポート機能を搭載しています。

◆情報の2次利用

各種サマリ、院内・院外文書へのデータの利用 (引用) が可能です。

情報ソースの公開 (守秘契約必要) により、病院様による独自の情報収集・情報利用が可能です。(EUCの実現)

◆画像情報との連携

PACS等画像システムからの各種画像データを、Webブラウザを利用して連携致します。(Webサーバ必要)

診療録を記載しながら参照画像データの表示やインフォームドコンセントへの活用を実現します。

◆オーダエントリシステムとの連携・機能アップ

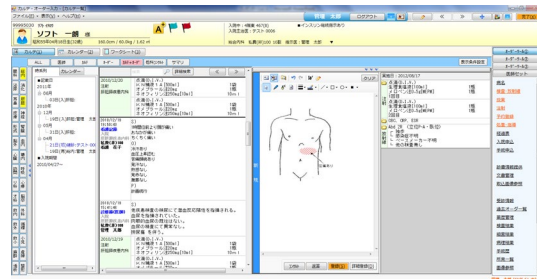
当社オーダエントリシステム (NEWTONS2) より、容易に電子カルテ機能をアドオンすることが可能です。オーダエントリシステムのインターフェイスにそのままに、診療録機能を追加し、オーダとのシームレスな連携を実現しています。

4) 画面/構成図を含めた分かりやすい説明 :

電子カルテ入力画面

入力補助機能

- ・ シェーマ図取り込み
- ・ テンプレート入力
- ・ ワードパレット入力
- ・ 各種データを引用記載
- ・ 画像貼り付け
- ・ 医療辞書標準提案



5) 標準化への対応状況、未達成の場合対応予定および対応のための追加費用の有無 :

(1) マスタ/コード体系

- ・ MEDIS-DC 標準病名マスター (ICD10), MEDIS-DC 標準手術・処置マスター (ICD9CM), MEDIS-DC 看護実践用語標準マスター (看護行為編、看護観察編), レセプト電算コード, MEDIS-DC 標準歯科病名マスター (ICD10), MEDIS-DC 標準歯式コード仕様 (以上、標準で提供)
- ・ MEDIS-DC 標準医薬品マスター (HOT 番号), 医薬品業者社内医薬品マスター, 日本臨床検査医学会 臨床検査項目分類コード (JLAC10), JJ1017 画像検査コード Ver3, 患者状態アウトカム用語集ベーシックアウトカムマスター (以上、コードに対応)
- ・ 処方・注射オーダ標準用法規格 (1 回量処方運用時に標準提供)

(2) データ交換規約

- ・ JAHIS データ交換規約 (共通編) Ver1.2, JAHIS 基本データセット適用ガイドライン Ver3.0, JAHIS 病名データ交換規約 Ver.3.1C, JAHIS 処方データ交換規約 Ver.3.0, JAHIS 注射データ交換規約 Ver2.1C, JAHIS 放射線データ交換規約 Ver3.1C, JAHIS 臨床検査データ交換規約 Ver4.0C (以上、データ交換規約に準拠した HL7 Ver2.5 形式でのデータ出力に対応)
- ・ JAHIS 内視鏡 DICOM 画像データ規約 Ver.2.0

(3) データ交換手法

TCP/IP ソケット、SOAP、XML ファイル

(4) IHE-J コネクタソン

- ・ Radiology (放射線) SWF.b/Order Placer
- ・ Laboratory (臨床検査) LBL/Label Information Provider  
LTW/Order Placer, Order Result Tracker
- ・ Laboratory-MB (細菌検査) LTW-MB/Order Placer, Order Result Tracker
- ・ IT Infrastructure (IT インフラ)

ATNA/Audit Record Repository, Secure Application  
CT/Time Client, Time Server  
PAM/Patient Demographics Supplier, Patient Demographic Consumer  
Patient Encounter Supplier, Patient Encounter Consumer  
PDQ/Patient Demographics Supplier, Patient Demographic Consumer  
PDQm/Patient Demographic Consumer  
PIXV3/Patient Identity Source, Patient Identity Consumer, Patient Identity Cross-reference Manager  
PDQV3/Patient Demographics Supplier, Patient Demographics Consumer  
XCA/Initiating Gateway, Responding Gateway  
XDS.b/Document Consumer, Document Registry, Document Repository, Document Source

※標準化への取り組みならび IHE 統合宣言書については、下記サイトをご参照ください。

<https://www.softs.co.jp/business/standard.html>

(5) 標準化未対応の場合、対応可否および追加費用の有無記載

追加対応：可、追加費用：有

(6) 厚生労働省電子的診療情報交換推進事業規格適合への適合事例

「厚生労働省電子的診療情報交換推進事業規格適合への適合事例 あり」

- |   |                                     |
|---|-------------------------------------|
| ・ HS001 医薬品 HOT コードマスター                                     | ・ HS005 ICD10 対応標準病名マスター            |
| ・ HS008 診療情報提供書(電子紹介状)                                      | ・ HS011 医療におけるデジタル画像と通信(DICOM)      |
| ・ HS012 JAHIS 臨床検査データ交換規約                                   | ・ HS013 標準歯科病名マスター                  |
| ・ HS014 臨床検査マスター  | ・ HS016 JAHIS 放射線データ交換規約            |
| ・ HS017 HIS, RIS, PACS, モダリティ間予約, 会計, 照射録情報連携 指針(JJ1017 指針) |                                     |
| ・ HS024 看護実践用語標準マスター(一部対応)                                  | ・ HS026 SS-MIX2 ストレージ仕様書および構築ガイドライン |
| ・ HS027 処方・注射オーダ標準用法規格                                      | ・ HS031 地域医療連携における情報連携基盤技術仕様        |
| ・ HS032 HL7 GDAIに基づく退院時サマリ規約                                | ・ HS033 標準歯式コード仕様                   |
| ・ HS035 医療放射線被ばく管理統合プロファイル                                  |                                     |

(8) HL7 適合性認定製品

(9) SS-MIX ストレージ利用範囲 ストレージ作成、データ連携(参照含む)

標準化ストレージ、拡張ストレージ(退院サマリ、診療情報提供書、医師カルテ、看護カルテなど)

6) 動作環境(ソフトの場合)、ハードスペック(ハードの場合)：

- サーバ(OS、DB)：
  - ・ OS: Windows Server 2019
  - ・ DB: SQL Server 2019 Enterprise Edition
- サーバ(ハード)：メーカー指定特になし(HP、日立、DELL、レノボ、など実績多数)
- クライアント(OS)：
  - ・ Windows10
- クライアント(ハード)：メーカー指定特になし(推奨スペック指定はあり)

7) 稼働までに必要な作業・期間：

病院内システム委員会様及びシステム担当者様との打合せ、弊社システムの検証、運用の決定、操作練習、マスタ設定等・本稼働前5ヶ月～6ヶ月(オーダリング導入期間も含む)、本稼働後2ヶ月～3ヶ月はSE常駐体制を継続

8) 価格：

システム規模により異なるため、要お問合わせ。

参考例：200床規模：2,000万円～(電子カルテパッケージ費用 ※ハードウェア、オーダリングシステム、医事システム、部門システム、ネットワーク等の費用は含まず)

9) 保守の内容と費用：

リモートメンテナンス保守(24時間サーバ監視含む)

<保守内容>

- ① 提供済みプログラムの不具合対処
- ② 提供済みプログラムの機能アップ(バージョンアップ)
- ③ 法改訂に伴うプログラム変更作業及び薬価・行為マスタの提供
- ④ 誤操作、HW障害時の回復指示及び作業支援
- ⑤ 業務変更・拡張に伴う、SW面・HW面でのコンサルティング
- ⑥ その他

<月額保守費用>

システム規模により異なるため、要お問合わせ。

10) 問い合わせ先：

問い合わせ先：(株)ソフトウェア・サービス <https://www.softs.co.jp>

〒532-0004 大阪市淀川区西宮原 2-6-1

TEL：06-6350-7222；FAX：06-6350-7227

技術営業部 新規営業グループ

info@softs.co.jp